



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322

参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

党員西地区委員
坂本ひろし

党員常任委員
上田俊彦
Tel 69-8113

党員政対策委員
上田ゆみ子
Tel 68-2106

市政で力を入れてほしいこと トップテン

- 1, 高齢者医療費の助成 50.6%
- 2, 国保税の軽減 46.8%
- 3, 高齢者介護の充実 39.2%
- 4, 企業の誘致 22.8%
- 5, キーバスの運行改善 20.3%
- 5, 駐車場や公衆トイレ対策 20.3%
- 7, 空き店舗対策 19.0%
- 8, 地産地消の推進 15.2%
- 9, 小学生の医療費助成 13.9%
- 10, 30人学級の実現 12.7%
- 10, 学校の安全確保 12.7%
- 10, 学校給食に
小矢部のコシヒカリを 12.7%

日本共産党と砂田喜昭議員はこれらの要望の実現に努力する決意です。

道の駅 作らなくてもいいと思う。また余計な経費がかかるばかりで、役所の天下り先になるのでは反対です。(60代女性)

議会をケーブルテレビで見ているも腹立たしい。決まりきった言葉で、スムーズに進行されていく。(40代女性)

世の中は生きるも地獄、死ぬも地獄、そんなところへ子など産めるか！(30代男性)

道の駅の計画も大切だが、昔からある城山公園の整備、そして桜町のバイパスへの道をつける。城山公園から桜町へ通ずる道を。(60代男性)

医療費の負担増は困る!

日本共産党の市民アンケートから

日本共産党が現在取り組んでいる市民アンケートに、毎日、回答が寄せられています。市政で力を入れてほしいことのトップに、高齢者医療費の助成があげられています(左上)。富山県の石井県政は県単独医療費助成制度の見直しをすすめています、住民要望とは逆の方向であることがわかります。



医療制度を改悪したのは自民党、公明党

先の国会でも小泉内閣は医療制度改革を強行しました。70歳以上の医療費が1割負担から2割、3割負担に増やされ、さらに2年後には、現在家族に扶養されている人も含めて75歳以上のすべての人が「後期高齢者医療制度」に組み込まれ、平均で年間約6万円の医療保険料が年金から天引きされます。弱いものいじめのこんなひどい法律を強行したのは自民党と公明党です。米軍再編に3兆円もの負担をしようとしている政府のやり方をみると、財源がないのではありません、税金の使い方が間違っているのです。

医療費負担増の 中止を

日本共産党

命と健康を守る 共同の運動を提唱

日本共産党は、医療改悪法の撤回と負担増の中止を要求しています。介護保険施設の食費・居

住費の負担増で、すでに施設を退所する高齢者が出ており、こうした事態を病院にも広げることとはストップさせなければなりません。同時に改悪法は、中長期的な制度改悪の枠組みは決めているものの、これからの予算措置や診療報酬などの政策誘導で実行する「計画」が少なくありません。したがって、医療法改悪の実施を許さないたたかいますが、今後重要になってきます。また、地方自治体としても、一人も医療を受ける権利を奪われぬ、犠牲者を出さない取り組みがいよいよ大事になってきます。

米軍駐留さえ反対である。ましてや3兆円負担とは・・・
保育を望むものはすべて無条件で保育所へ入所できるようにしたらよい。大規模=良いとは限らない。(60代男性)

議員海外視察は特に廃止してほしい。観光以外何の意味もない。(共産党については)好きになれない、嫌いだ。(50代男性)

何でもアメリカの言いなり。NOといえない。生活が苦しい人ほど税金が高い。お金を持っている人ほど税金が安い。
みんな時間がなさそう、ゆとりがない。
自民党の言いなりになってはだめ。生活がだんだん苦しくなる。小泉さんで何も変わらなかった。子供の殺害や親子の殺害などますますひどくなった。日本の昔のような暮らしにしてほしい。安心して住めない。(30代女性)

市役所の周りにゴミが散らかりすぎる。旧福岡町の石沢さん、自ら、朝、ゴミ袋を持って役場の周りのゴミを拾って歩かれたと役場の職員にお聞きしたことがある。
来年、砺波厚生センター小矢部支所が廃止されるのか。市長はどう考えているのか。食品営業者はじめ市民は福野の厚生センターまで行かなければならない。(60代女性)